

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 6 区分  
【発行日】令和 5 年 7 月 21 日(2023.7.21)

【公開番号】特開 2022-18851(P2022-18851A)  
【公開日】令和 4 年 1 月 27 日(2022.1.27)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-015  
【出願番号】特願 2020-122250(P2020-122250)  
【国際特許分類】

**B 6 5 D 43/06(2006.01)**

10

【F I】

B 6 5 D 43/06 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 7 月 12 日(2023.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液体吐出装置の液体タンクに液体を補充可能な液体収容容器であって、  
液体を収容可能な収容部と、  
前記収容部に接続され、前記収容部に収容されている液体を注出可能な注出口を有する注出口部と、  
前記注出口部に装着可能に構成され、前記注出口を開閉可能な蓋部と、  
前記蓋部と前記注出口部との当接箇所による密閉部と、を備え、  
前記蓋部は、前記蓋部の外部の天面において、前記蓋部の外周と前記密閉部との間に、  
円形状の溝構造を有することを特徴とする液体収容容器。

30

【請求項 2】

液体吐出装置の液体タンクに液体を補充可能な液体収容容器であって、  
液体を収容可能な収容部と、  
前記収容部に接続され、前記収容部に収容されている液体を注出可能な注出口を有する注出口部と、  
前記注出口部に装着可能に構成され、前記注出口を開閉可能な蓋部と、  
前記蓋部と前記注出口部との当接箇所による密閉部と、を備え、  
前記蓋部は、前記蓋部の外部の天面において、前記蓋部の外周と前記密閉部との間に、  
前記蓋部の全周に連続して形成されている溝構造を有することを特徴とする液体収容容器。

40

【請求項 3】

前記溝構造を、さらに前記蓋部の内部の天面に有する、請求項 1 又は 2 に記載の液体収容容器。

【請求項 4】

前記溝構造は、前記蓋部の全周に連続して形成されている、請求項 1 に記載の液体収容容器。

【請求項 5】

前記溝構造は、前記蓋部の全周に分断して形成されている、請求項 1 に記載の液体収容容器。

【請求項 6】

50

前記溝構造は、多角形状である、請求項 2 に記載の液体収容容器。

【請求項 7】

前記蓋部と、前記注出口部とは、それぞれ、ネジ構造を備え、

前記ネジ構造によって前記蓋部が前記注出口部に装着される、請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の液体収容容器。

【請求項 8】

前記蓋部は、前記溝構造の直下に、前記注出口部と当接する円筒構造を備える、請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の液体収容容器。

【請求項 9】

前記注出口部は、液止弁を内部に備え、

10

前記蓋部は、前記蓋部の閉栓に伴って前記液止弁を開放する突起を内部に備え、

前記蓋部が前記注出口部に装着された状態において前記突起が前記液止弁を開放する、請求項 1 乃至 8 のいずれか一項に記載の液体収容容器。

【請求項 10】

前記液止弁は、オリフィス部と、弁体と、弁体を付勢する付勢機構とを有し、

前記付勢機構によって、前記オリフィス部と前記弁体とのギャップが閉塞される、請求項 9 に記載の液体収容容器。

【請求項 11】

前記液体収容容器は、液体を吐出する液体吐出装置の液体タンクに補充する液体を収容し、

20

前記注出口部は、前記液体タンクに設けられた凸部と係合する凹部を備えている、請求項 1 乃至 10 のいずれか一項に記載の液体収容容器。

【請求項 12】

前記蓋部の前記天面と垂直な方向から見て、前記蓋部の前記外部の天面において、前記蓋部の前記外周と前記密閉部との間に前記溝構造を有する、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の液体収容容器。

【請求項 13】

インクを収容するように構成されている、請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項に記載の液体収容容器。

【手続補正 2】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、液体を収容する液体収容容器に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

40

【補正の内容】

【0007】

本発明の一態様に係る液体収容容器は、液体吐出装置の液体タンクに液体を補充可能な液体収容容器であって、液体を収容可能な収容部と、前記収容部に接続され、前記収容部に収容されている液体を注出可能な注出口を有する注出口部と、前記注出口部に装着可能に構成され、前記注出口を開閉可能な蓋部と、前記蓋部と前記注出口部との当接箇所による密閉部と、を備え、前記蓋部は、前記蓋部の外部の天面において、前記蓋部の外周と前記密閉部との間に、円形状の溝構造を有することを特徴とする。